

miratap

システムキッチン

グラッド LX

組立設置説明書 01-GRA03S-06

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



キャビネット・レンジフードなどの設置は、建築壁の構造を確かめて説明書どおりに正しく行ってください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。



必ず事前に搬入経路の確認を行ってください。
思わぬ事故の原因になったり、搬入できない場合があります。



ステンレス製キャビネットを取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。
切断面に触ると、ケガをするおそれがあります。



レンジフード横には不燃ウォールキャビネットを使用してください。
(詳しくは、所轄の消防署へ確認ください)
火災の原因になることがあります。



組込まれる電気製品・加熱機器・レンジフード・その他機器については、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けしないでください。
排水能力の低下で、シンクから水があふれ、床を汚す原因になることがあります。



防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続を確実に行ってください。
水漏れや湿気で、床などが腐る原因になることがあります。



設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は、各注意表示に従って正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になることがあります。



セラミックワークトップは平持ちしないでください。
ねじれて割れる原因となります。



棚板を設置するときは、棚受けをすき間のないよう根元まで確実に差し込んでください。
棚板がはずれ収納物が落下し、ケガをするおそれがあります。



組立設置完了後は、引出し・扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



セラミックワークトップは重量が大きいため4人以上で搬入を行ってください。

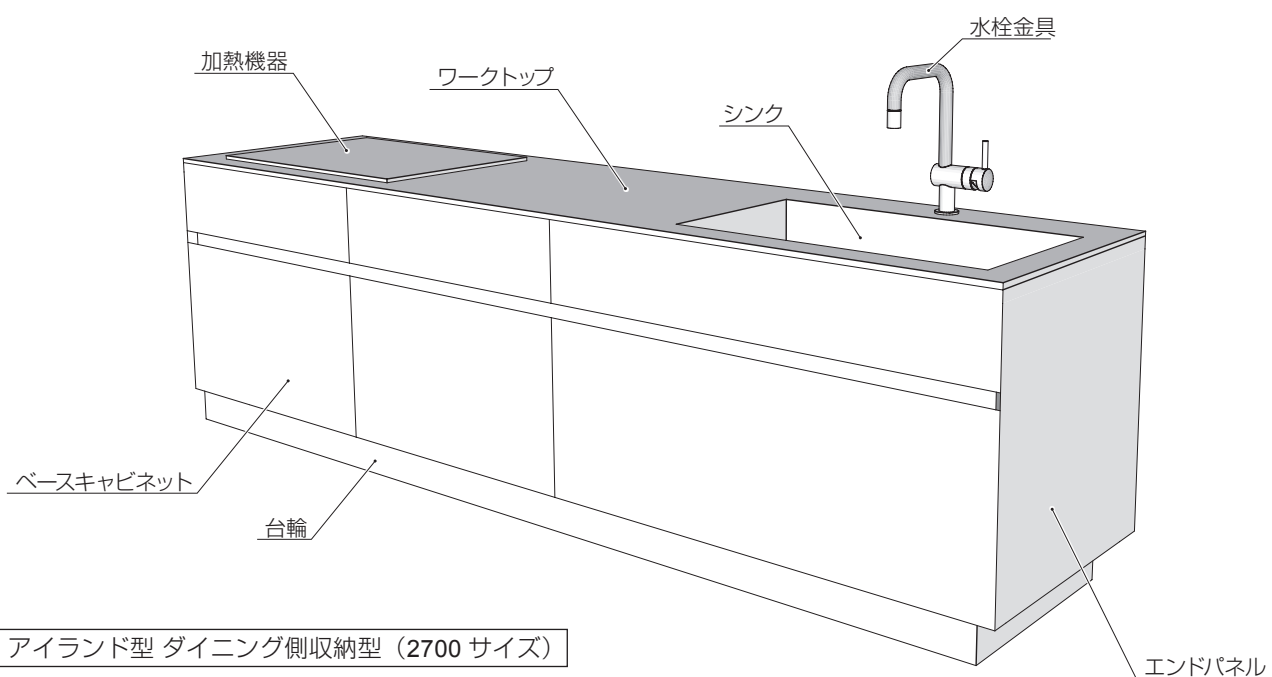
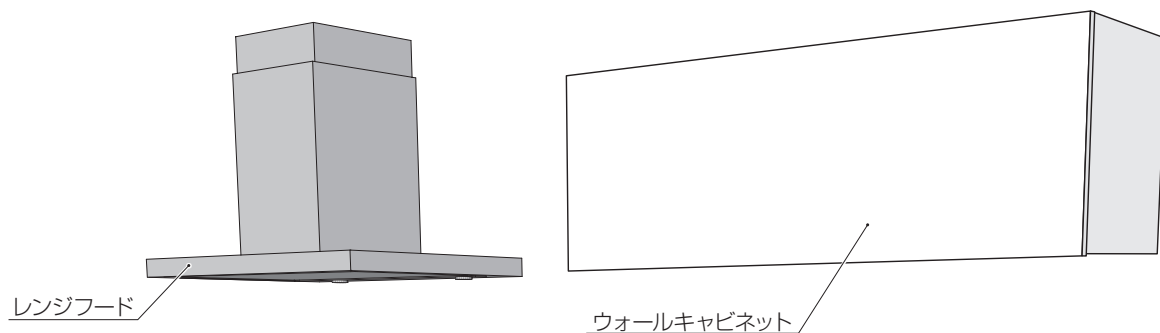


最大 430kg/1 セット程度の荷重に耐えられる床補強を行ってください。

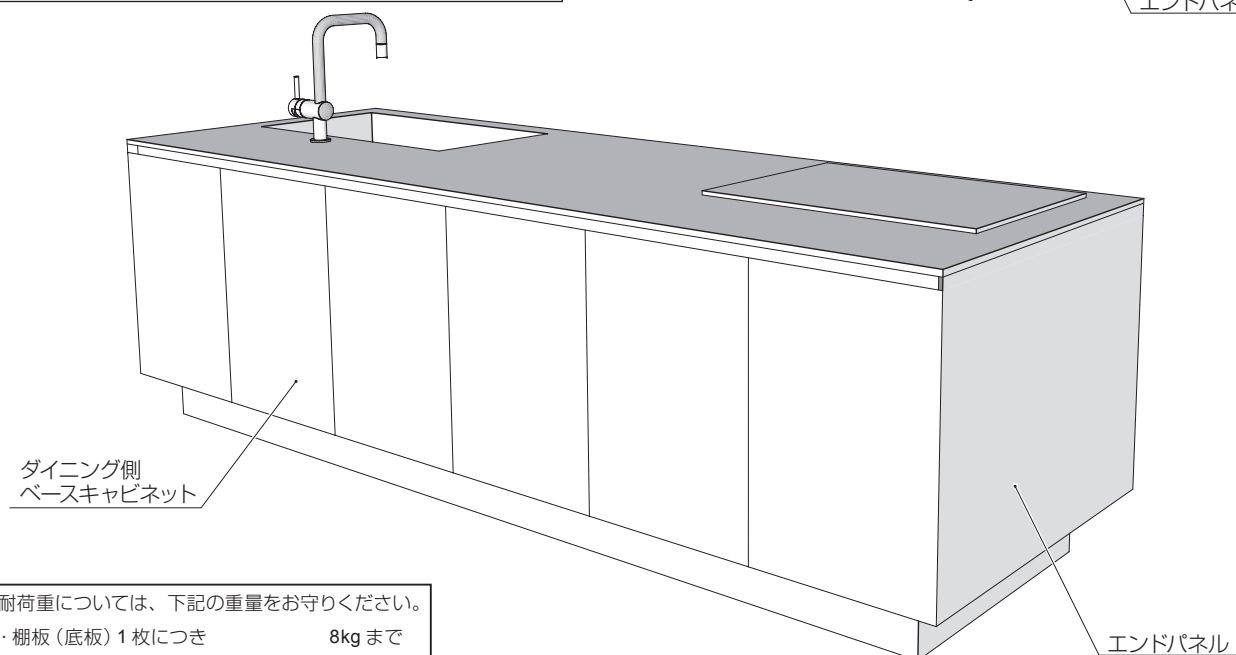
1 各部の名称

◎グラッド LX

ウォール型 (2700 サイズ)



アイランド型 ダイニング側収納型 (2700 サイズ)



耐荷重については、下記の重量をお守りください。

・棚板 (底板) 1 枚につき	8kg まで
・引出しヶ所につき	12kg まで

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上（セラミックワークトップは4人以上）で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。特にセラミックワークトップは材質の特性上、壁や柱に当たると欠け・破損の恐れがあります。
- 搬入経路によっては、搬入費用が別途必要となる場合がございます。
- 戸建住宅2階以上への設置に関しては階段手上げ搬入のみ対応可能です。
- 戸建住宅2階以上への設置で階段手上げ搬入が不可の場合、お客様にて重機（クレーン）等の手配が必要となります。
- 集合住宅の場合は、搬入はワークトップがエレベーターに乗ることが必須条件となります。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。
- セラミックワークトップは縦持ちしてください。平持ちはしないでください。
※ ねじれて割れる原因となります。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法（桟木45mm×100mm以上の強度のある硬い木材または12mm以上の合板）
- 最大430kg/1セットに耐えうる床補強
- 必要な給水給湯管・排水管・ガス配管・電気配線の位置および接続方法
- ガス種・電圧（100V/200V）・周波数
- レンジフード用の開口（ダクト）の位置および寸法
- 火災予防条例に準拠したレンジフード・コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法



キャビネット・レンジフードなどを取付ける取付用下地（桟木45mm×100mm以上または12mm以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。（取付用桟木に十分なネジ保持力がなく、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります）

- キッチン本体総重量（一例）

タイプ	ウォール型 W2400	ダイニング側収納型 W2700
重量	240kg	430kg

- ウォールキャビネット総重量

幅	W750	W1050	W1200	W1275	W1350
重量	25kg	35kg	38kg	40kg	45kg

3 設置手順



- 取付け時には引出しや扉・棚板・棚受金具を取外して作業を行ってください。また引出しや扉に汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
- 引出しを持つ場合は、必ず引出しの側板部分を持ってください。
(左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります)
- ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。
- ダウンライト付ウォールキャビネットの場合は、取付前に必ず点検用底板を外して作業を行ってください。

1. ウォールキャビネット・レンジフードの取付け

① 扉と点検用底板の取外し

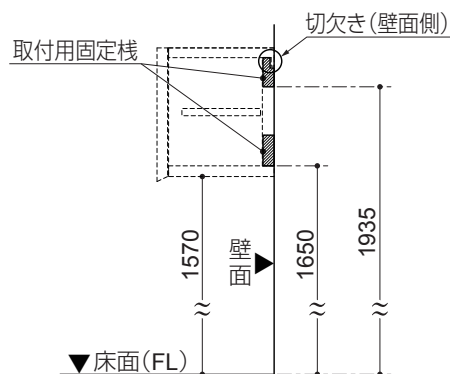
取付け前に扉と点検用底板を取外してください。(扉の外し方は取扱説明書の「各部の調整」を参照)

② 取付用固定棧の取付け

仕上り床面を基準に、ウォールキャビネット固定棧木を取付皿木ネジ 4.5 × 63 (ウォールキャビネット固定棧壁固定用) で壁面に取付けてください。

● 取付ネジはウォールキャビネット内に同梱。

※ 吊戸棚下端が床面 FL から 1570mm の場合、切欠き有りの固定棧は床から 1935mm、切欠き無しの固定棧は床から 1650mm の位置に取付けてください。
(仕上がり床面 FL ~ 固定棧下端)



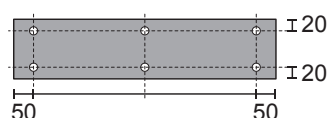
③ ウォールキャビネットの仮設置

ウォールキャビネット背板のフックを固定棧の欠きに引っかけて、仮設置してください。

④ ダウンライト付きウォールキャビネットの場合

ダウンライト付ウォールキャビネットの場合は、取付時ウォールキャビネット背板引込み穴より電気配線を取込んでください。

固定棧1枚につき、取付皿木ネジ4.5×63：6ヶ所



固定棧取付位置

⑤ ウォールキャビネットの取付け

ウォールキャビネット背板の固定穴から、取付 A トラスネジ 4.5 × 60 (ウォールキャビネット壁固定用) に付属の平座金 (ワッシャー) をかませ壁面へ固定してください。(8ヶ所)

⑥ レンジフードの取付け

レンジフードに付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

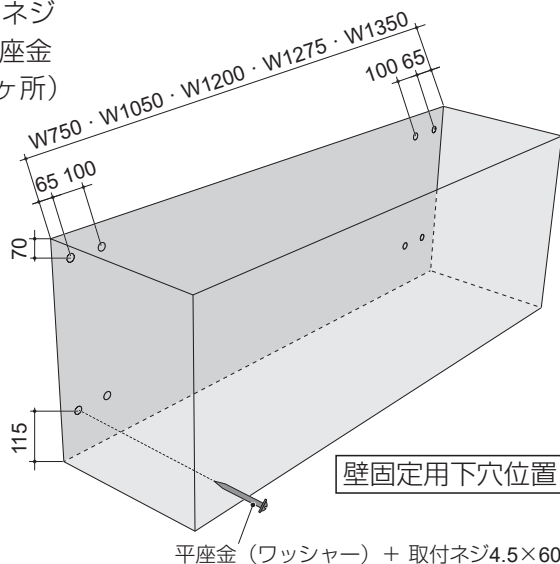
⑦ 扉・点検用底板の取付け

ウォールキャビネット取付前に取外した扉と点検用底板を取付けてください。

※ 扉の取付け方は取扱説明書の「各部の調整」を参照

※ 養生フィルムは優しく丁寧に剥がしてください。

※ 点検用底板はトラスネジ M4 × 8 を用いて、大きいほうを手前、上側に重ねて設置してください。



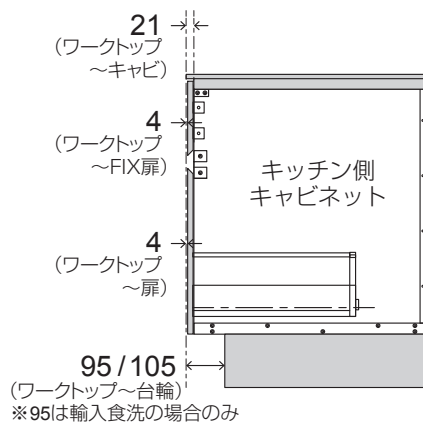
壁固定用下穴位置

平座金 (ワッシャー) + 取付ネジ4.5×60

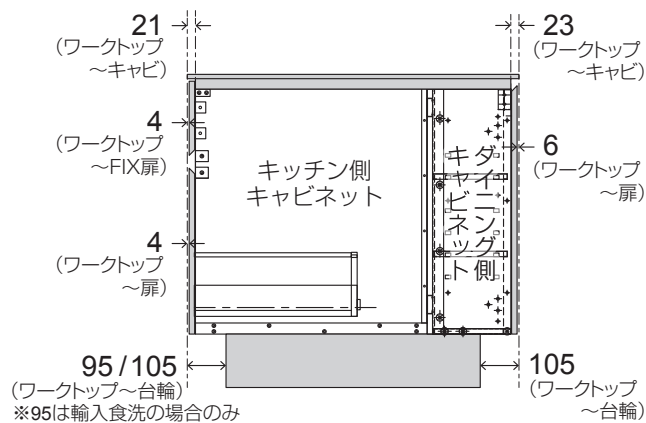
2. ベースキャビネットの取付け

◎ ベースキャビネット詳細設置基準 (単位: mm)

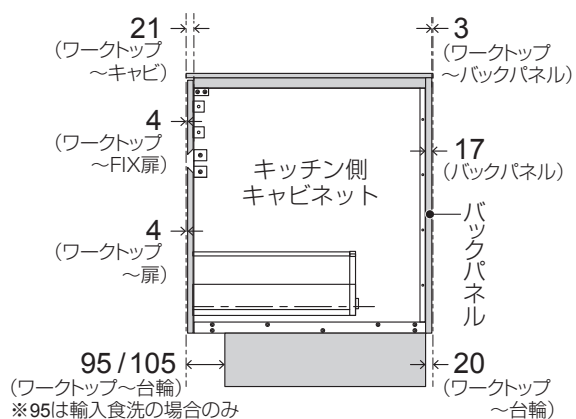
ウォール型 詳細納まり図(D650)



ダイニング側収納型 詳細納まり図(D900)



バックパネル型 詳細納まり図(D670)



① 台輪の設置(輸入食洗機仕様は 13 ページ、ダイニング側収納型仕様は 17 ページを参照)

図面にに基づき、台輪を設置してください。

※ 台輪運搬時は、台輪連結部（下図参照）でステンレスが変形する可能性があるのでご注意ください。

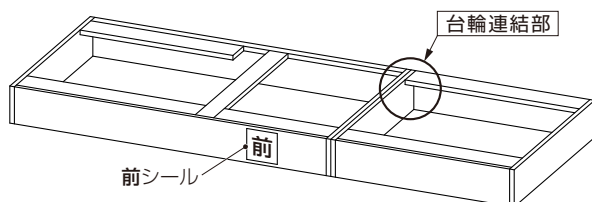
※ ウォール型の台輪の床固定は不要です。

● ベースキャビネットの取付ネジは台輪の部品箱に同梱。

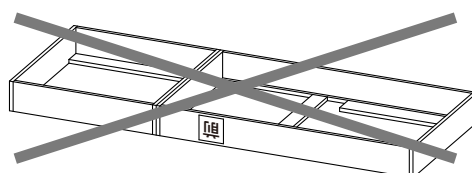
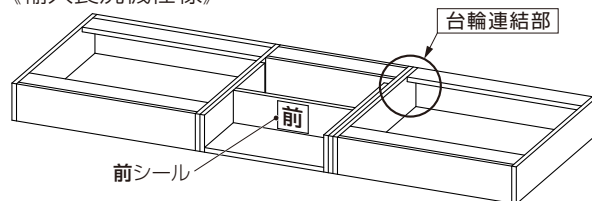
● 「前シール」が貼られている面をキッチン側（調理側）に向けて設置してください。

※ 下図の状態を設置すると上下の向きも正しく設置できます。

《国内食洗機仕様・食洗機無し仕様》



《輸入食洗機仕様》



※ 設置向きが違くと正しく施工できませんので、注意してください。



○ 台輪には設置向きがありますので、ご注意ください。上図の通り「前シール」をキッチン側（調理側）に向けて設置してください。

（『前シール』が無い面は壁側およびリビング側となります）

○ 台輪上面の水平が出ていないとキャビネット取付時にゆがみが発生しますので、ご注意ください。



○ キャビネットのレベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビ（台輪同梱）又は現場調達分パッキンにて、キャビネットと台輪との間、もしくは台輪と床面に差し込み微調整を行ってください。

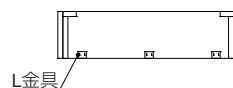
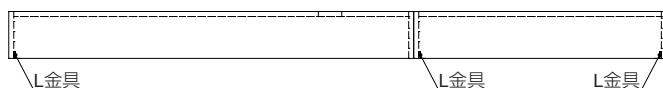
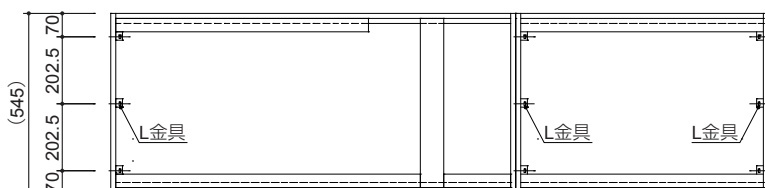
《バックパネル型の場合》

L 金具を利用し、取付 A 丸木ネジ 3.5 × 25 で台輪と床を固定してください。

※ 床配管・配線および床暖房設備への干渉がないことを確認してから固定してください。

※ レーザー等で水平レベルを確認してください。

（レベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビ、又は現場調達分パッキンにて台輪と床面に差し込み、微調整を行ってください）



② ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の連結（輸入食洗機仕様は 16 ページ、ダイニング側収納型仕様は 17 ページを参照）

仮設置の前に引出しを外してください。（取扱説明書の「各部の調整」を参照）

図面に基づきキャビネットを仮設置し、中央のキャビネットの両側板から、連結ボルト M3 × 26 ・ ナット M3 × 12 を用いて左右のベースと連結してください。（各面 6 ヶ所固定）

※ レーザーなどで水平レベルを確認して連結を行ってください。

③ ベースキャビネットの取付け（ダイニング側収納型仕様は 17 ページを参照）

ベースキャビネット底板の固定穴から、平座金（ワッシャー）＋ 取付ネジ（A トラストッピング 4 × 14）でベースキャビネットと台輪を固定してください。

※ レーザー等でレベルを確認してください。

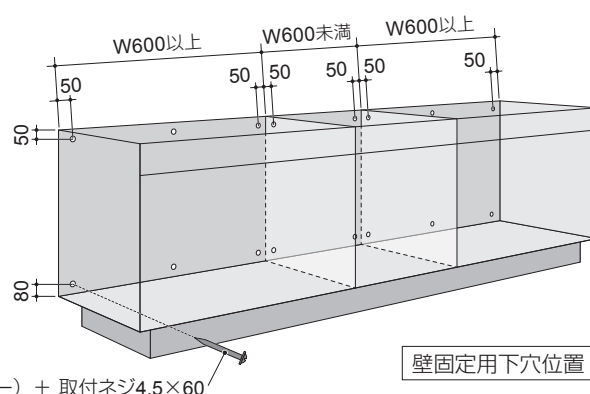
※ キャビネットのレベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビ、又は現場調達分パッキンにてキャビネットと台輪との間、もしくは台輪と床面に差し込み微調整を行ってください。

《ウォール型の場合》

ベースキャビネットの水平レベルを確認して、平座金（ワッシャー）＋ 取付 A トラスネジ 4.5 × 60 で壁面へ固定してください。

- W600mm 以上：上下計 6 ヶ所
- W600mm 未満：上下計 4 ヶ所

※ 国産食洗機設置手順は 19 ～ 22 ページを参照



《バックパネル型の場合》

① 部品箱に同梱の取付ネジ（トラス M4 × 8）で仮固定金具を固定してください。

② バックパネルに取付けた仮固定金具をキャビネット背板に引っかけて、仮固定してください。

③ キャビネット内側から部品箱に同梱の平座金（ワッシャー）＋トラス M4 × 8 ネジでバックパネルを仮固定してください。（キャビネット背板に見える長穴を使用して仮固定してください）

※ 全てのネジを仮止めとし、最終微調整後に本固定してください。（パネル 1 枚：9 ヶ所）
（バックパネルの左右と中央の隙間は均等になるように調整してください。）

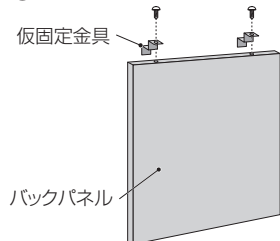
※ 面合せに微調整が必要な場合は、部品箱に同梱のバンポンを使用してください。

④ ①の仮固定金具を取外します。

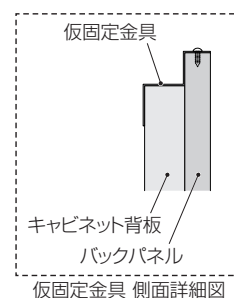
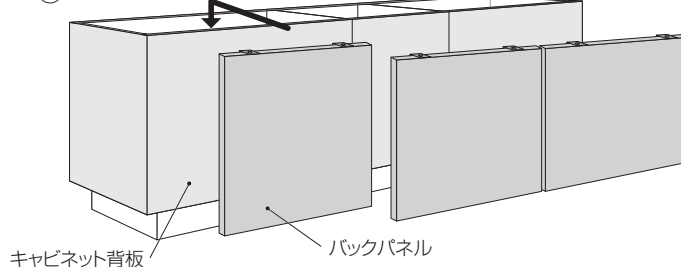
※ バックパネルには右・左があるため、取付けの際は注意してください。

※ バックパネルには傷防止のフィルムを貼ってありますが、設置時に L 金具などで傷を付けないよう取扱いには注意してください。

①



②



キャビネットは壁面または床に固定した台輪に取付ネジで固定してください。

④ 配管・配線の取だし穴加工

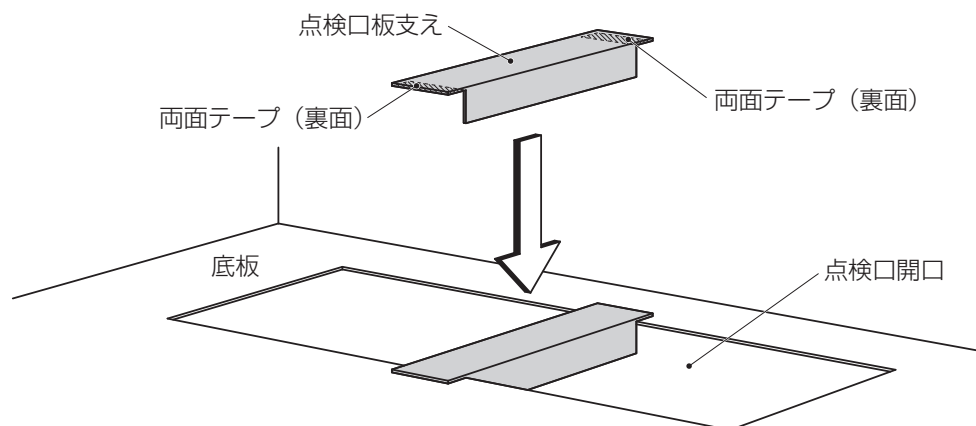
ベースキャビネットの底板点検口に、必要に応じた配管・配線の取だし穴を開けてください。

⑤ 点検口板支えの取付け

点検口板支えの裏面に貼られている両面テープの剥離紙をはがし、点検口の中央部（配管などの干渉に注意）に貼り付けてください。（下図参照）

※ 点検口支えは、点検口板のたるみを防止する部材です。

※ 点検口支えは、点検口板と一緒に背板に固定されています。



⑥ 点検口板の取付け

● 点検口板は大きいほうを手前にし、キャビネットの底板に取付けられているトラスネジ M4 × 8 を用いて重ねて設置してください。

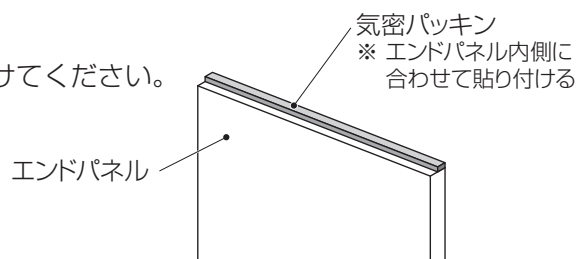
⑦ エンドパネル上面木口へ気密パッキンの貼り付け

同梱の気密パッキンをベースキャビネットのエンドパネル上面木口に貼り付けてください。

※ はく離紙を剥がして貼り付けてください。

※ 仕上がりがきれいになるよう内側に合わせて貼り付けてください。

※ ワークトップとエンドパネルの隙間埋めとなります。



3. ワークトップの取付け（輸入食洗機仕様は 15 ページ参照）

① ワークトップの仮設置

ベースキャビネットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベースキャビネットの左右両側のチリが均等になるように調整してください。

② ワークトップの取付け

ベースキャビネットに仮設置したワークトップの裏面に、ワークトップ用の取付 A トラストッピングネジ 3.5 × 12 でベースキャビネット内側のワークトップ固定穴から固定してください。

※ ネジの長さを確認してから固定してください。

※ ワークトップ取付後、水平レベル・建ち等を確認してください。



○ ワークトップ端部でケガをしないよう注意してください。

○ 開梱後にワークトップを持ち運ぶときは、出来る限り立てて持ち運んでください。
（奥行方向を平らにして両端を持つと、変形の原因になります）

4. コンロ上フィラーの取付け

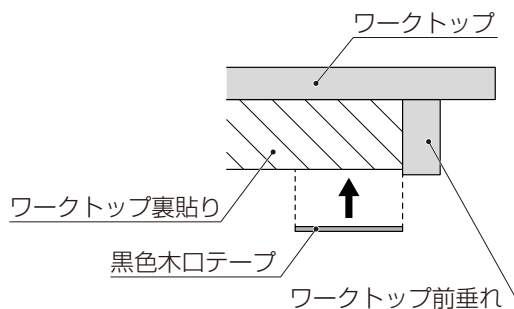
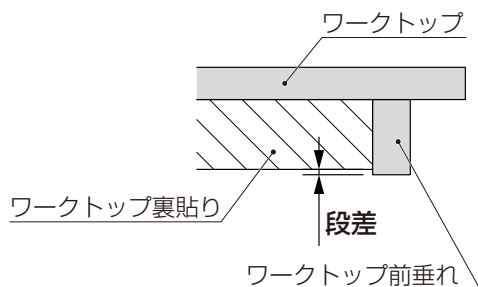
加熱機器が魚焼きグリル付の場合、コンロ上フィラーを取付けます。

コンロ下キャビネットのカウンター下部に、コンロ上フィラーを取付けてください。

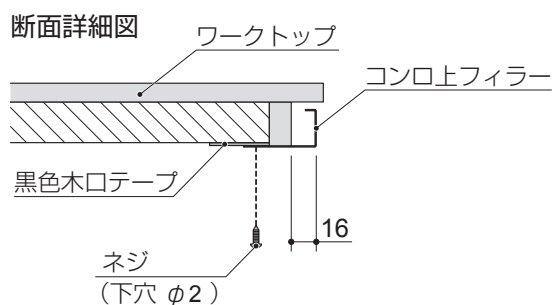
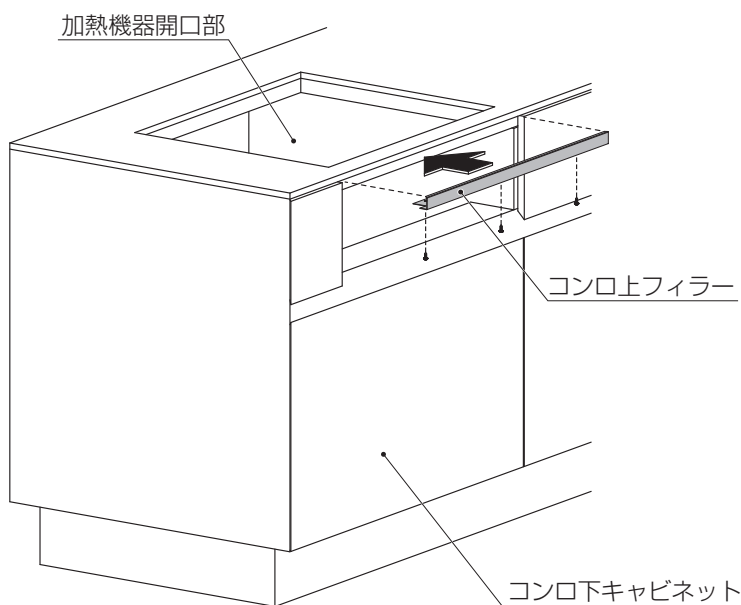
(ネジ：トラスタッピングφ 3.5 × 12：3本)

- ① ワークトップの裏貼りと前垂れに段差が生じている場合は、同梱の黒色木口テープをワークトップ裏貼りに貼り付けてください。

※ コンロ上フィラーの間口と同じサイズに黒色木口テープを現場カットし、裏面のはくり紙を剥がしてワークトップ前垂れの後ろ端に合わせ、間口方向は加熱機器開口部センター合わせで貼り付けます。一枚で段差が解消されない場合は、2枚重ね貼りをしてください。



- ② 加熱機器開口部に対して、センター合わせで取付けてください。(下穴φ 2 を開けてください。)



コンロ上フィラーの切り欠き部、端部に鋭利な箇所があります。取付時には保護手袋を着用してください。(切断面に触れるとケガをする恐れがあります)

5. 水栓金具・排水器具・機器類の取付け

① 水栓金具の取付け

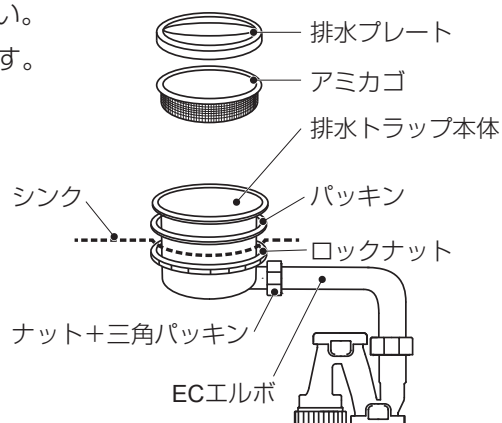
水栓金具に付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

※ 水栓により、先にワークトップに取付ける場合があります。

② 排水器具の取付け

排水器具は右図の順序で取付けてください。

※ ロックナットの締付けは専用の締付工具を使用し、その他のナットは手で漏水のないように確実に固定してください。



③ 各種機器の取付け

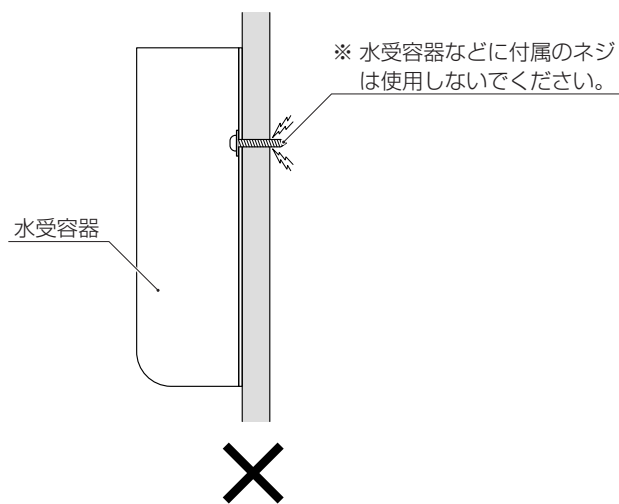
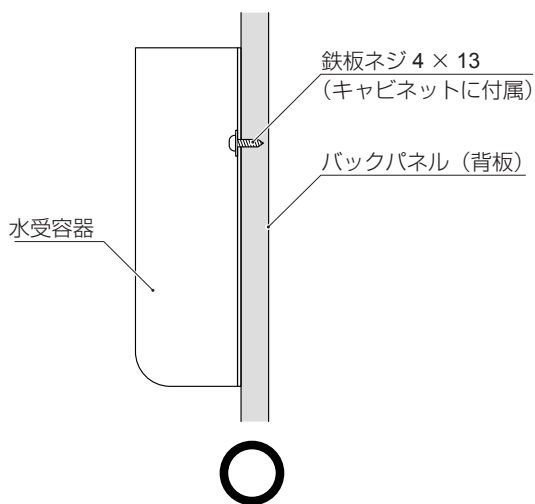
各種機器は、本体に付属されている工事説明書どおりに、正しく取付けてください。

※ 食洗機用電源コンセント・IH ヒーター用電源コンセント・グロー工製引出式水栓用水受容器・ガス配管等の固定用サドルバンド、浄水カートリッジ取付台などをキャビネット背板に固定する場合は、台輪の部品箱に同梱の鉄板ネジ 4 × 13 を必ず使用してください。(鉄板ネジは 10 本同梱しております)



アイランドタイプ・ペニンシュラタイプの時、長いネジを使用すると背板またはバックパネルを貫通する可能性があります。

※ 背面収納の背板の厚みは 14mm、バックパネルの厚みは 17mm となります。



6. 引出しの取付け

設置前に外した引出しを取付けてください。(取扱説明書の「各部の調整」を参照)

※ 養生フィルムは優しく丁寧に剥がしてください。

■ 輸入食洗機仕様 設置手順

1. 台輪の設置（8 ページを参照し、台輪の設置向きに注意して行ってください。）

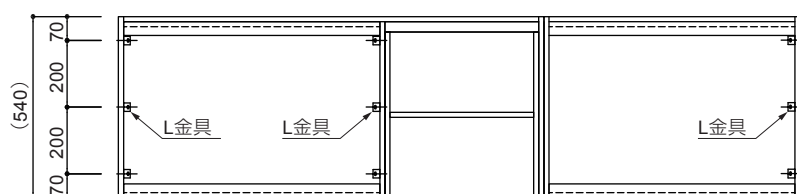
- ① 出荷時には、台輪の中間部（食洗機設置部）に搬送用補強箱が取付けてあります。（補強箱はまだ取外さないでください）この補強箱を設置用治具として使用してください。

上から見た図

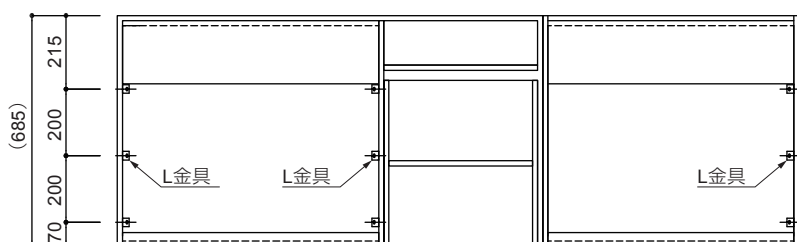


- ② L 金具を利用し、台輪を床に固定してください。（A 丸木ネジ 3.5 × 25）
（補強箱はまだ取外さないでください）

ウォール型仕様（W600 輸入食洗のみ）・バックパネル型仕様

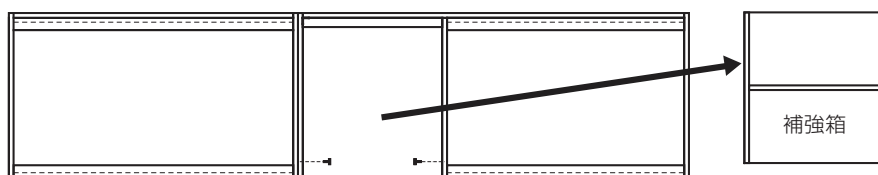


ダイニング側収納型仕様



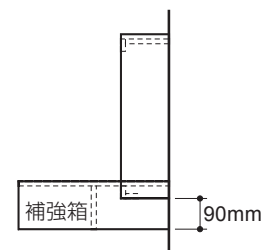
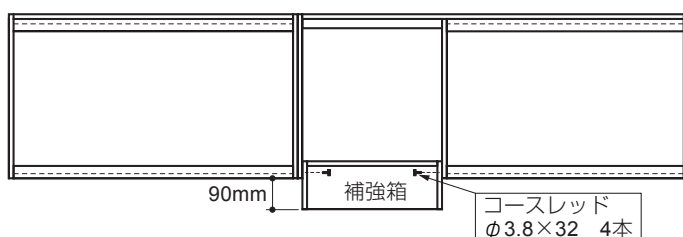
- ③ 台輪と補強箱を固定しているネジを外し、補強箱を取外してください。

上から見た図



- ④ 補強箱の底面を正面にして立て、台輪の正面より 90mm 手前に引き寄せた場所で台輪をネジ止めしてください。
（この補強箱が食洗機の設置位置・スペースの目安となります。）

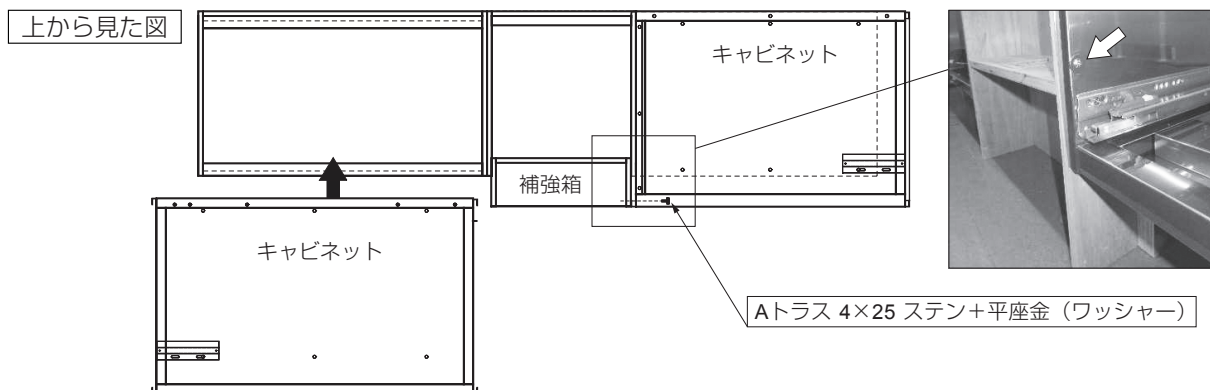
上から見た図



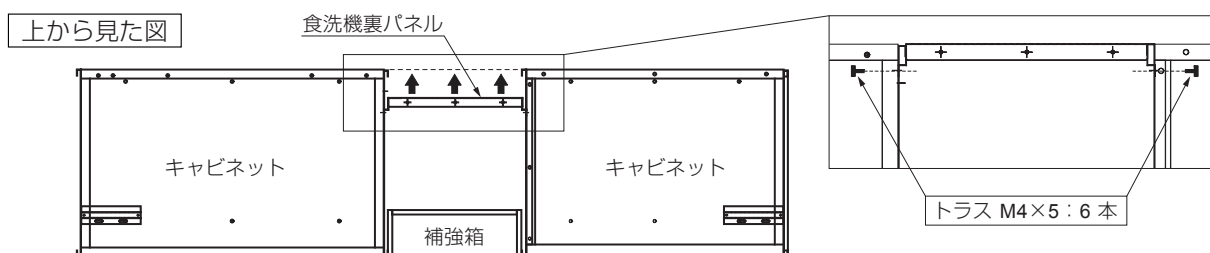
2. キャビネットの取付け

- ① キャビネットの引出しを外し、ウォール型・バックパネル型の場合は、キャビネット背面と台輪の背面を揃えて台輪の上に乗せ、キャビネット側から補強箱を A トラス 4 × 25 + 平座金 (ワッシャー) で固定してください。ダイニング側収納型の場合は、キャビネット前面と補強箱の前面を揃えて台輪の上に乗せ、キャビネット側から補強箱を A トラス 4 × 25 + 平座金 (ワッシャー) で固定してください。

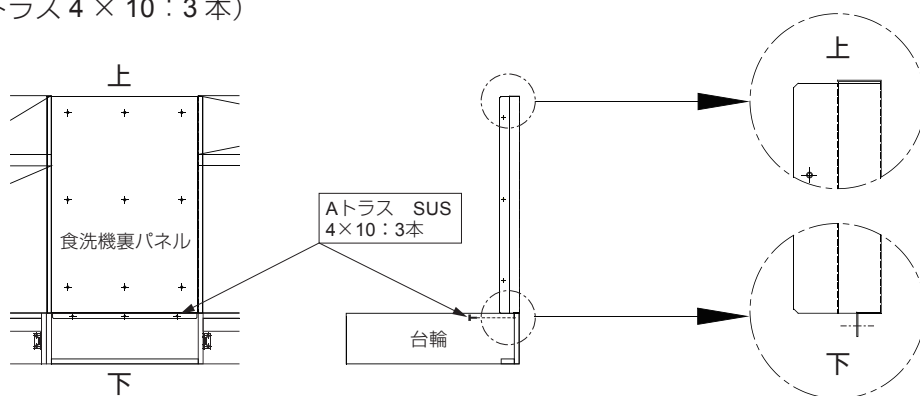
(キャビネット側板の連結用穴を使用します。)



- ② キャビネットの背面に合わせて食洗機裏パネルを取付けてください。
(トラス M4 × 5 : 6 本でキャビネット側からネジで固定してください。)



- ③ キャビネットと台輪の位置調整を行い、キャビネットを台輪に固定してください。
(固定方法は標準組立設置説明書の設置手順 2-③ ベースキャビネットの取付け参照)
キャビネットと台輪を固定した後、食洗機裏パネルの下部を台輪に固定してください。
(A トラス 4 × 10 : 3 本)

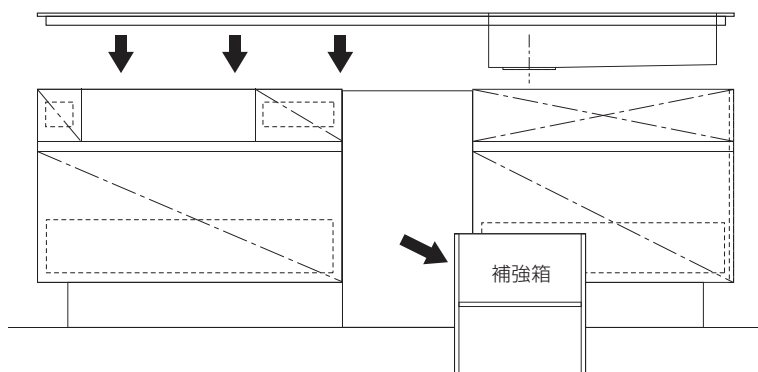


- ④ ウォール型の場合は、キャビネットを壁に固定してください。バックパネル型・ダイニング側収納型の場合は、キャビネット背面にバックパネルまたは背面収納キャビネットを固定してください。
(固定方法は標準仕様設置手順 9 ページ、ダイニング側収納型設置手順 17 ページを参照)

3. ワークトップの取付け

① 天板を固定し、補強箱を外してください。

※ 天板固定前に補強箱を外さないでください。



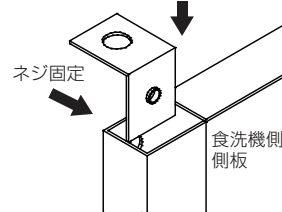
W750 コンロキャビネットの場合

W600 輸入食洗機仕様

※コンロキャビネット側にL金具（台輪の部品箱に同梱）を取付、天板と固定します。

L金具は下図のように、食洗機側の側板にはめ込み、キャビネット内側より、ビス固定をします。

使用ビス：スリムヘッド M4 × 6



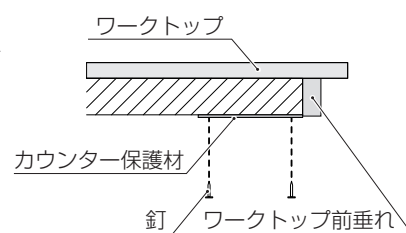
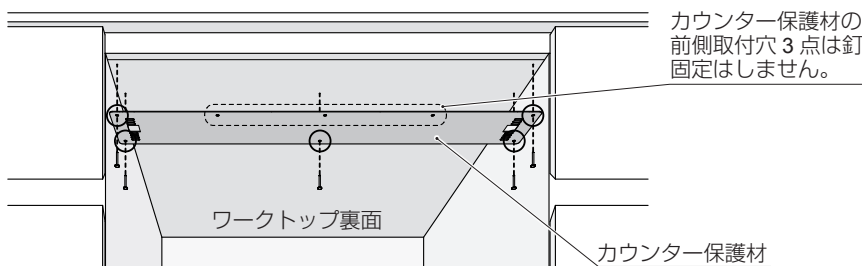
4. 食洗機上フィラーの取付け

※ 食洗機が W450 タイプの場合は W447 フィラーを取付けします。

※ 食洗機が W600 タイプの場合はコンロ上フィラーと同じもの（W597）を取付けします。

《ガゲナウ製食洗機の場合》

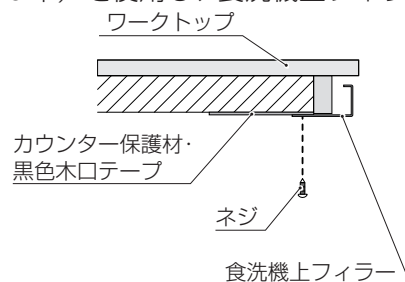
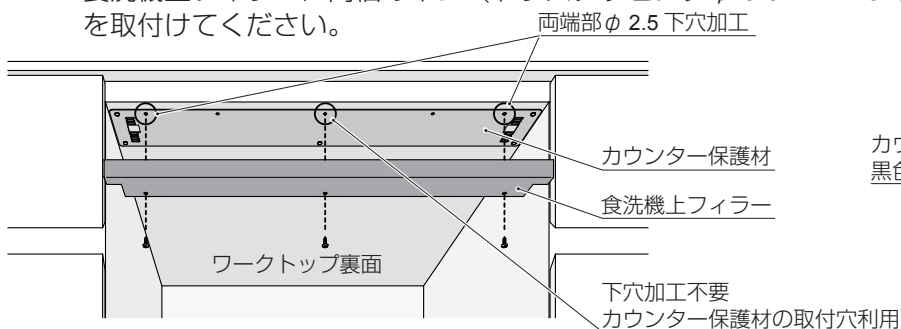
① 食洗機の設置説明書を併せて参照し、ワークトップ裏面にカウンター保護材（食洗機同梱品）を釘（食洗機同梱品）で取付けてください。このとき、下図のようにワークトップ前垂れ後ろ端に、カウンター保護材を当てて取付けます。また、図の○の取付穴5ヶ所のみを使用し釘で取付けてください。



② カウンター保護材とワークトップ前垂れに段差が生じている場合は、同梱の黒色木口テープをカウンター保護材の上に貼り付けて段差を解消してください。（11ページの「4. コンロ上フィラーの取付け ①」を参照）

③ 食洗機上フィラーを、① ②で取付けたカウンター保護材・黒色木口テープの上からかぶせるように取付けてください。

食洗機上フィラーの取付穴両端位置にはφ2.5の下穴をあけます。（取付穴真ん中位置には下穴不要）
食洗機上フィラーに同梱のネジ（トラスタッピングφ3.5 × 12：3本）を使用し、食洗機上フィラーを取付けてください。

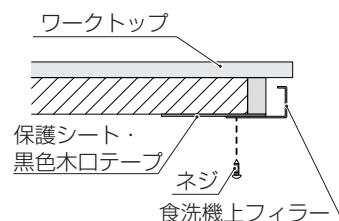


《ミーレ製食洗機の場合》

① 食洗機の設置説明書を参照し、ワークトップカウンター保護シート（食洗機同梱）をワークトップ裏面に貼り付けてください。

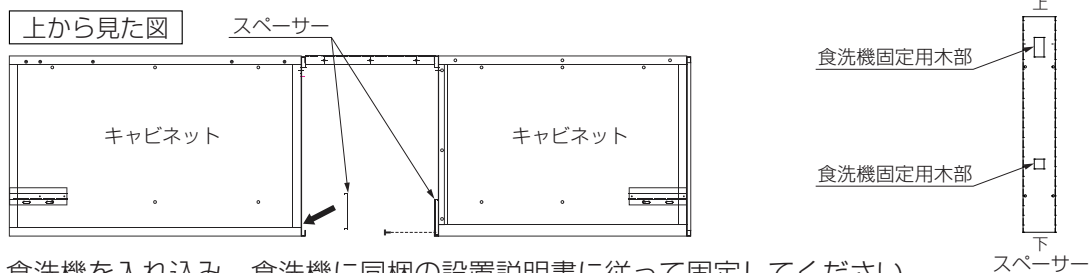
② 保護シートとワークトップ前垂れに段差が生じている場合は、同梱の黒色木口テープを保護シートの上に貼り付けて段差を解消してください。（11ページの「4. コンロ上フィラーの取付け ①」を参照）

③ 食洗機上フィラーを、① ②で貼り付けた保護シート・黒色木口テープの上からかぶせるように取付けます。食洗機上フィラーの取付穴位置にφ2.5の下穴をあけ、食洗機上フィラーに同梱のネジ（トラスタッピングφ3.5 × 12：3本）を使用し、食洗機上フィラーを取付けてください。

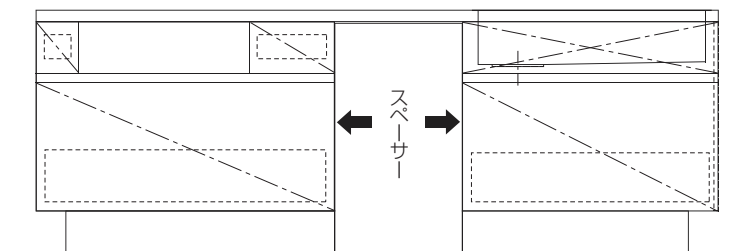


5. 食洗機の取付け

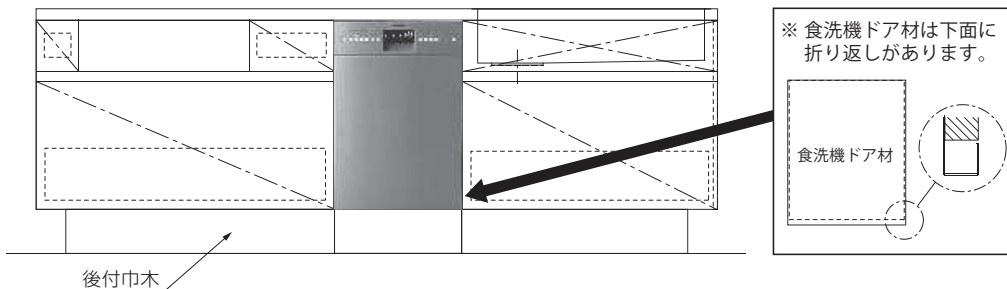
- ① 食洗機固定用スペーサーを食洗機設置スペースの側板手前側（前側）に設置し、キャビネットの連結穴にネジで固定してください。（スリムヘッド M4 × 10 片側 2 本ずつ）



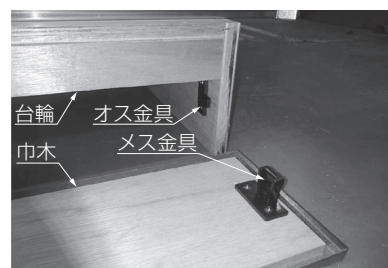
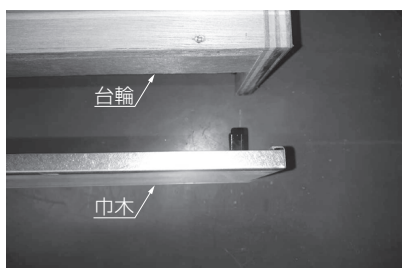
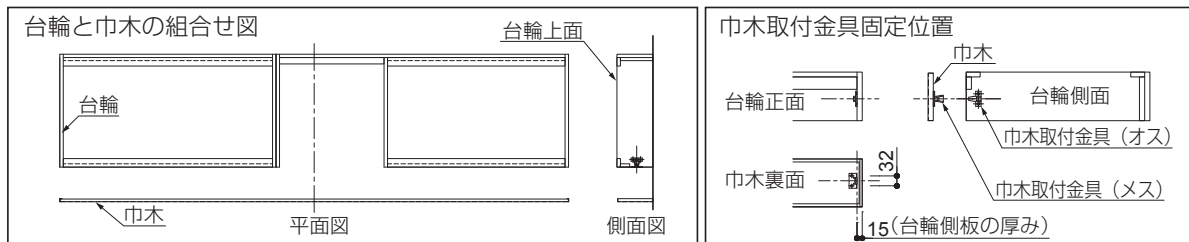
- ② 食洗機を入れ込み、食洗機に同梱の設置説明書に従って固定してください。



- ③ 後付巾木（切欠きを上にして）を取付けてください。



《 巾木取付詳細 》



- 標準仕様設置手順も合わせてご覧の上、正しく取付けてください。
- 製品を乱暴に扱うと、変形・破損の恐れがありますので、丁寧に扱ってください。
- 巾木取付金具（メス）は、台輪に取付けられている巾木取付金具（オス）にはめ込まれています。
- 巾木取付金具（メス）は引っ張ると外れますので外して、確実に皿ネジ 4 × 12（部品箱に同梱）で取付けてください。
- 巾木取付金具（メス）の取付向きに注意してください。（写真の向きを参照してください）

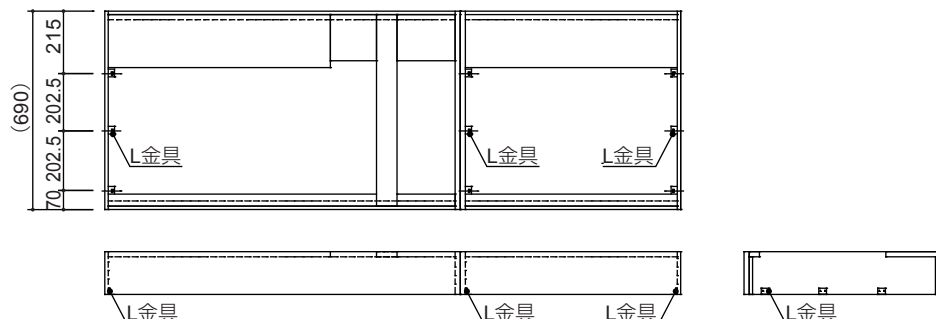
■ ダイニング側収納型 設置手順

① 台輪の設置

図面に基づき、台輪を設置してください。

※ 8 ページを参照し台輪の設置向きに注意し、L 金具を利用し、台輪を床に固定してください。

使用ネジ：取付 A 丸木ネジ 3.5 × 25



② 引出し・扉の取外し

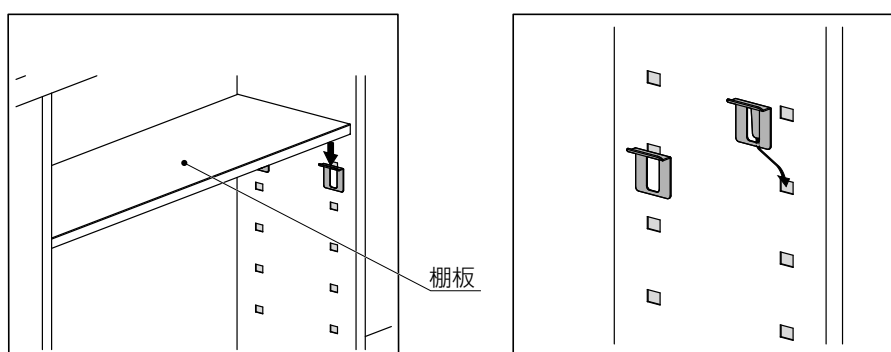
キッチン側ベースキャビネットの引出しと、背面側ベースキャビネットの扉を外してください。
(取扱説明書の「各部の調整」を参照)

③ 棚板・棚受けの取外し

背面側ベースキャビネットから必ず棚板・棚受けを取外してください。

※ アイランド型の場合：両サイド（シンク側、コンロ側）の背面ベースキャビネット

※ ペニンシュラ型の場合：シンク側の背面ベースキャビネット



④ キッチン側ベースキャビネット・背面側ベースキャビネットの仮設置・ユニット同士の連結

図面に基づき、キッチン側ベースキャビネット・背面側ベースキャビネットを仮設置してください。

① 中央のキッチン側ベースキャビネットの両側板から部品箱に同梱の連結ボルト M3 × 26・ナット M3 × 12 を用いて左右のベースキャビネットと連結してください。(各面 6 ヶ所固定)

② 中央の背面側ベースキャビネットの両側板から部品箱に同梱の連結ボルト M3 × 26・ナット M3 × 12 を用いて、左右のベースキャビネットと連結してください。(各面 6 ヶ所固定)

※ ⑦ の図を参照し、レーザー等で水平レベルを確認して連結を行ってください。

⑤ キッチン側ベースキャビネットと背面側ベースキャビネットの連結

キッチン側ベースキャビネット背板の固定穴から、背面側ベースキャビネットを部品箱に同梱のネジで固定してください。

使用ネジ：トラスネジ M4 × 8 ネジ・ワッシャー

※レーザー等で水平レベルを確認して連結を行ってください。

※キッチン側ベースキャビネット背板には複数の穴があいていますが、キッチン側ベースキャビネット背板の長穴と、背面側ベースキャビネット背板のタップ加工位置が合う箇所を固定してください。
(背面側ベースキャビネット 1 台につき両端×上下の 4 ヶ所)

⑥ キッチン側ベースキャビネットと台輪の連結

底板の固定穴から、台輪と連結してください。

使用ネジ：A トラスネジ 4 × 14、平座金（ワッシャー）

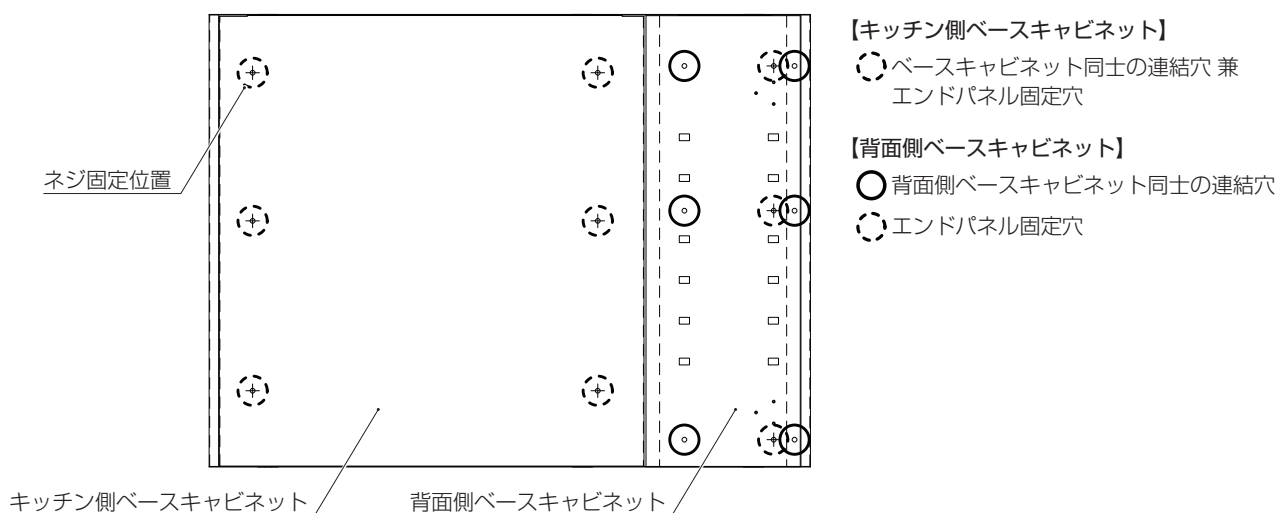
※レーザー等で水平レベルを確認して連結を行ってください。

⑦ ベースキャビネットとエンドパネルの連結

① ベースキャビネットの側板にエンドパネルをかぶせてください。

② ベースキャビネット側板の固定穴から、エンドパネルをネジ固定してください。（下図を参照）

使用ネジ：トラスネジ M4 × 5 エンドパネル 1 枚につき 9 個



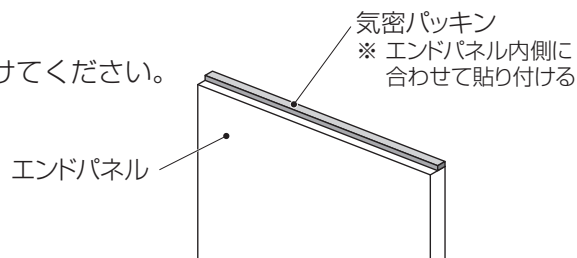
⑧ エンドパネル上面木口へ気密パッキンの貼り付け

同梱の気密パッキンをベースキャビネットのエンドパネル上面木口に貼り付けてください。

※ はく離紙を剥がして貼り付けてください。

※ 仕上がりがきれいになるよう内側に合わせて貼り付けてください。

※ ワークトップとエンドパネルの隙間埋めとなります。



⑨ 天板設置後、引出し・扉・棚板・棚受けの取付け

② ③で取外した、キッチン側ベースキャビネットの引出しと、背面側ベースキャビネットの扉・棚板・棚受けを取付けてください。（取扱説明書の「各部の調整」を参照）

養生フィルムは優しく丁寧に剥がしてください。

⑩ 配管・配管取出し穴加工

キッチン側ベースキャビネットの底板点検口に、必要に応じた配管・配線の取出し穴をあけてください。

⑪ 点検口板支えの取付け

10 ページを参照し、点検口板支えを取付けてください。



標準仕様設置手順も合せてご覧の上、正しく取付けてください。

■ 国産食洗機固定金具 設置手順

《食洗機上設置》

※ 対象品番：EW-45 * * * * (三菱食洗機)

① 転倒防止金具の取付け

- 台輪の部品箱に同梱のネジ（スリムヘッド M4 × 6：2 本）を使用して、転倒防止金具を取付けてください。

※ 転倒防止金具の固定穴は手前から3番目を使用してください。下穴は前側を使用してください。(図1)

※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。

【転倒防止金具は食洗機本体に同梱】

② 前ズレ防止金具の取付け

- 台輪の部品箱に同梱のネジ（スリムヘッド M4 × 6：2 本）を使用して、前ズレ防止金具を取付けてください。(図2)

【前ズレ防止金具は食洗機本体に同梱】

③ 食洗機の設置

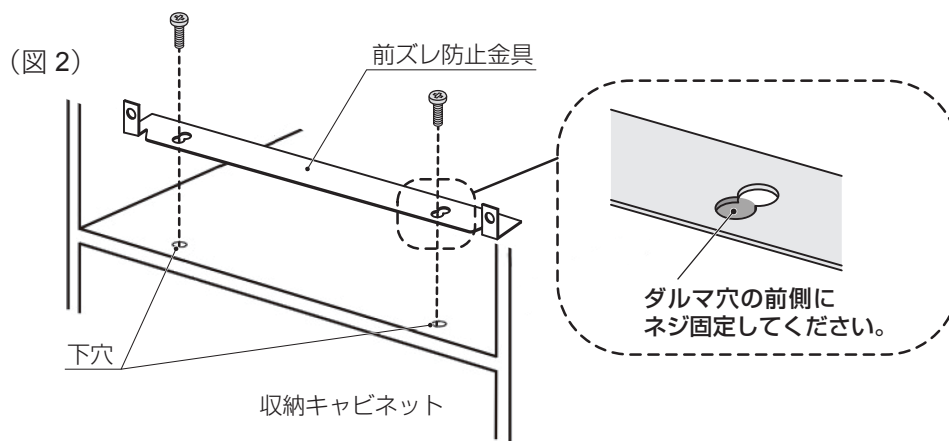
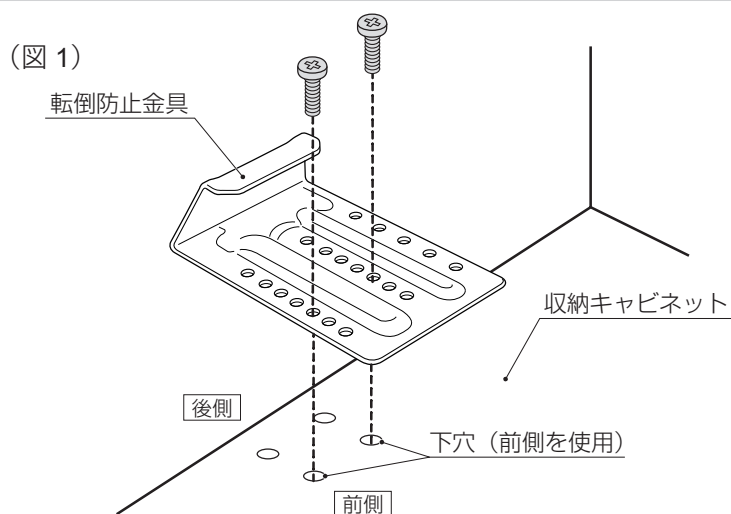
食洗機本体に同梱されている「据付説明書」に従って、食洗機を設置してください。

- 食洗機パネル固定のネジは、台輪内の部品箱に同梱しているネジ(φ4 × 10mm)を使用してください。

※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。



電気工事・アース接地は説明書通り確実に行ってください。
(漏電・感電の恐れがあります)



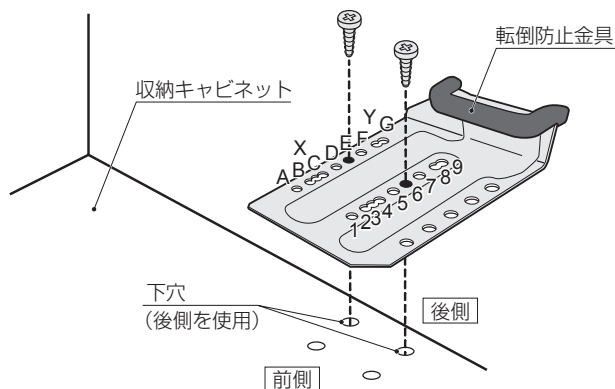
《食洗機上設置》

※ 対象品番：NP-45 ＊ ＊ ＊ ＊ （パナソニック食洗機）

① 転倒防止金具の取付け

転倒防止金具の穴位置は、E (6) 列を使用してください。下穴は後側を使用してください。

- 固定には、食洗機同梱のネジは使用しないでください。キャビネットの固定穴を破損してしまいます。
- ※ ネジは、台輪内の部品箱に同梱の（M4 × 6 スリムヘッド SUS）を使用してください。
- ※ 電動ドライバーは締めすぎることがあるので必ず手締めしてください。
- ※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。

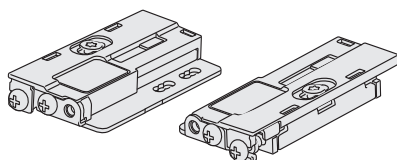


② 調整金具の取付け

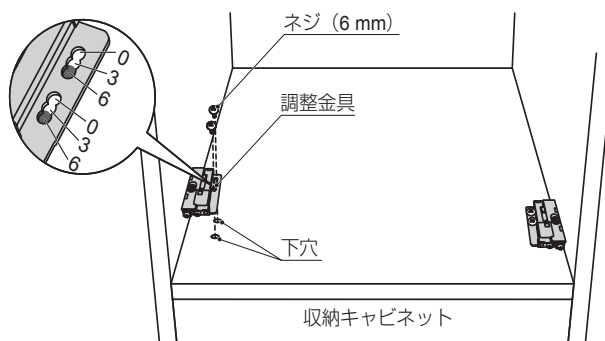
調整金具は、食洗機同梱の説明書を確認してください。

- 調整金具は、食洗機同梱のネジは使用しないでください。キャビネットの固定穴を破損してしまいます。
- ※ ネジは、台輪内の部品箱に同梱の（M4 × 6 スリムヘッド SUS）を使用してください。
- ※ 調整金具の取付位置は、食洗機面材厚み（15mm）のため、[6] の位置に固定してください。

- 調整金具 (L) (R) : 各1個



- ネジ：4本



③ 食洗機パネルスぺーサーの取付け

食洗機同梱のフラットスぺーサーを取付けてください。

- ※ 食洗機面材厚み（15mm）のため、食洗機同梱の説明書〔15.5mm 以下の場合〕を参考に取り付けてください。

④ 食洗機の設置

食洗機本体に同梱されている「据付説明書」に従って、食洗機を設置してください。



電気工事・アース接地は説明書通り確実に行ってください。
(漏電・感電の恐れがあります)

《食洗機下設置》

※ 対象品番：EW-45 * * * * (三菱食洗機)

① 食洗機キャビネットを台輪に設置

標準仕様設置手順どおりに食洗機キャビネットを設置してください。(図 1)

② 転倒防止金具と食洗機キャビネット底板を食洗機固定枠に固定

転倒防止金具と食洗機キャビネット底板を、台輪内の部品箱に同梱のネジで食洗機固定枠に固定してください。

転倒防止金具の固定穴は手前から 3 番目と一番後ろの穴を使用してください。下穴は前側を使用してください。(図 2) 使用ネジ：トラスネジ M4 × 14：4 本

【転倒防止金具は食洗機本体に同梱、ネジは台輪内の部品箱に同梱】

③ 前ズレ防止金具の取付け

食洗機キャビネット底板に前ズレ防止金具を、台輪内の部品箱に同梱のネジとナットで固定してください。(図 3) 使用ネジ：スリムヘッド M4 × 6：2 本、ナット：2 セット

【前ズレ防止金具は食洗機本体に同梱、ネジ・ナットは台輪内の部品箱に同梱】

④ 食洗機の設置

食洗機本体に同梱されている「据付説明書」に従って、食洗機を設置してください。

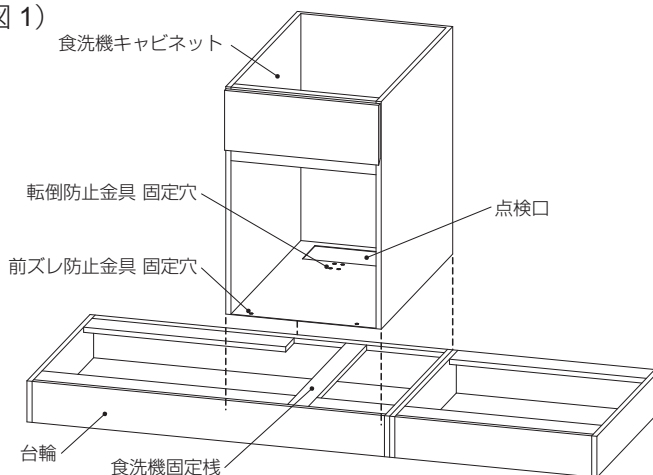
● 食洗機パネル固定のネジは、台輪内の部品箱に同梱しているネジ(φ 4 × 10mm)を使用してください。

※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。

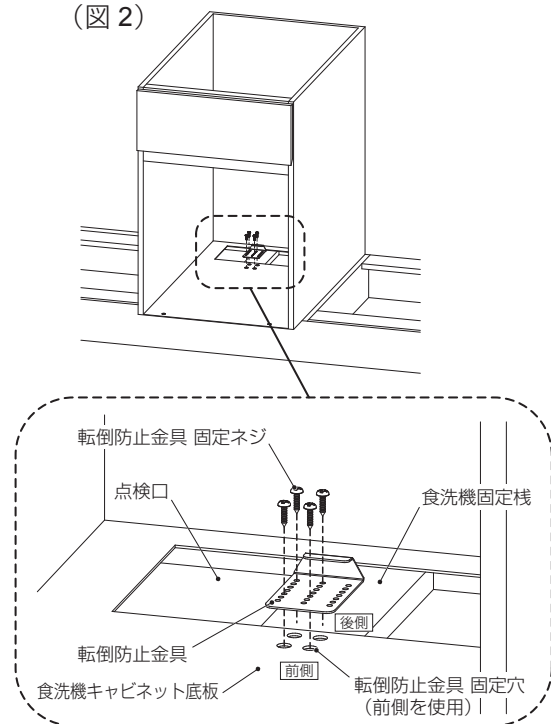


電気工事・アース接地は説明書通り確実に行ってください。
(漏電・感電の恐れがあります)

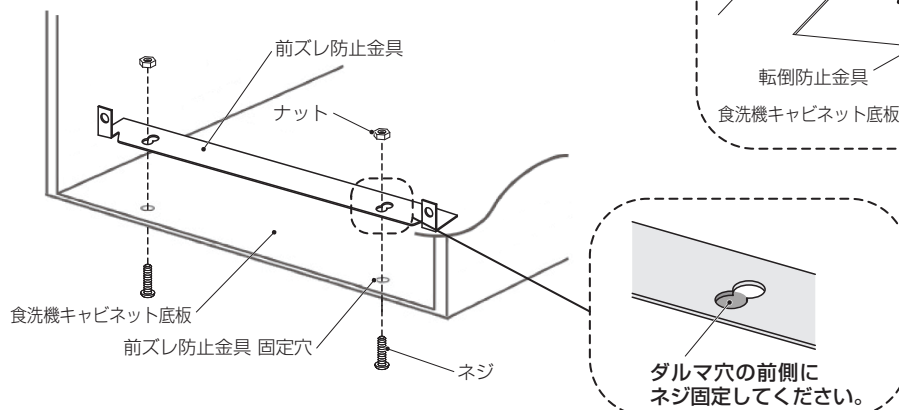
(図 1)



(図 2)



(図 3)

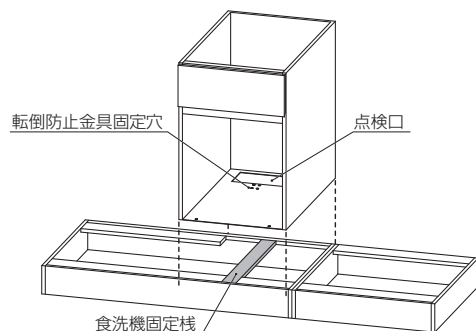


《食洗機下設置》

※ 対象品番：NP-45 * * * * (パナソニック食洗機)

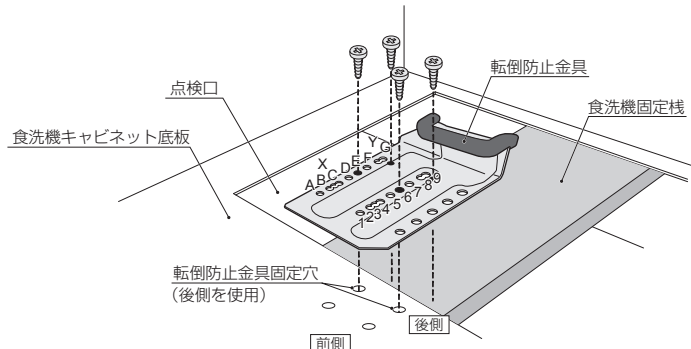
① 転倒防止金具の取付け

- 食洗機キャビネットの下に台輪の「食洗機固定棧」が入ります。



- 転倒防止金具と食洗機キャビネット底板を、台輪内の部品箱に同梱のネジ（トラスネジ M4 × 14：4 本）で、食洗機固定棧に固定してください。

※ 転倒防止金具の固定穴は E (6) 列と一番後ろの穴を使用してください。下穴は後側を使用してください。



② 調整金具の取付け

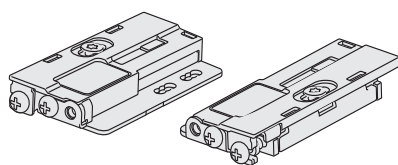
調整金具は、食洗機同梱の説明書を確認してください。

- 調整金具は、食洗機同梱のネジは使用しないでください。キャビネットの固定穴を破損してしまいます。

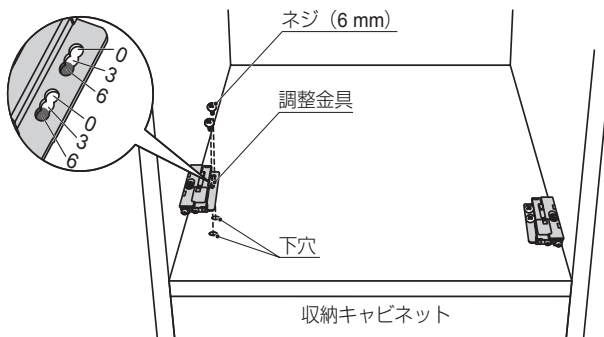
※ ネジは、台輪内の部品箱に同梱の（M4 × 6 スリムヘッド SUS）を使用してください。

※ 調整金具の取付位置は、食洗機面材厚み（15mm）のため、[6] の位置に固定してください。

■ 調整金具 (L) (R)：各1個



■ ネジ：4本



③ 食洗機パネルスペーサーの取付け

食洗機同梱のフラットスペーサーを取付けてください。

※ 食洗機面材厚み（15mm）のため、食洗機同梱の説明書〔15.5mm 以下の場合〕を参考に取付けてください。

④ 食洗機の設置

食洗機本体に同梱されている「据付説明書」に従って、食洗機を設置してください。



電気工事・アース接地は説明書通り確実に行ってください。
(漏電・感電の恐れがあります)

4 設置後の調整・確認

《各部の調整》

設置完了後は、引出しなど、がたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

《設置後の確認》

- 設置状況の再確認
 - 引出しが、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 電源線、ガス配管が引出しに干渉していないことを確認してください。
 - 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 必ずシンクと排水トラップ接続部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。
- 設置後のクリーニング
 - キャビネットや引出しのホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

